

手数料完全自由化に備える

神原秀雄 エース交易会長

段階的手数料自由化の流れの中、来年1月から大口取引に係る委託手数料が自由化される。収益の90%以上を手数料に依存している取引員にとって、「存亡の岐路」との緊迫感も出てい



大口手数料の自由化が迫ってきました。対応策を聞かせてほしい。

神原 最近、あちこちから対策を聞きに来ますが、そんなものあるわけがない。もともと自由化

自由化、恐れるに足らず

自信と誇りをもって前進

永続性のない手数料は適正なものとはいえない。台湾進出の時だって、1枚7,000円だったものが700円にまで下がって、平均2億円の赤字を出して大方は撤退した。この事実を直視すれば、値引き合戦のよ

えません。そんなうま味のある商売なら新規参入がどつとあるはず。それが無いという事は、いまの手数料水準がほどよいレベルだとみるべきでしょう。

——営業の最前線でも安い手数料の商品は敬遠されているという話を聞きます。神原 あるネット証券の営業マンが来て話していましたが、手数料を下げてもお客さまは増えなかったという事です。お客さまは各社の手数料を見比べて、店を選択するとい

ななど恐れるに足りません。米国の前例をみて下さいよ。1975年5月の証券手数料自由化、79年11月の商品先物の自由化によ

能な最低賃金だと考えます。現在、わが業界には年間約3,000億円の手数料収益があつて、これを約80社の専業取引員が分け合

取引です。その点、東工取の石油が大きな出来高を記録しているのは大変心強い限りです。東工取のとうもろこし、大豆にしても同じことがいえます。

——置いているはず。この大不況下で、各産業界の企業倒産が相次いでいますが、会社をつぶすという事は雇用問題も含めて社会に甚大な迷惑を及ぼす一大不祥事です。それが、わが業界ではここ10年は破綻がありません。このことにわれわれは誇りと自信を持つべきです。

46万円をSCJに寄付

全国商品取引員チャリティゴルフ

第11回全国商品取引員チャリティゴルフ大会が10月18日、快晴で汗ばむ陽気のもと、兵庫県川西市の鳴尾ゴルフ倶楽部で開かれた。

68・4、3位 戸館勇幸
オリオン交易社長(78、69・2)、
4位 松本義博
エグチフユ
1チャ
ズ社長
(86、70)、
5位 坂本嘉山
セントラル
商事会長
(79、70、
2、6位
加藤雅一・岡藤



チャリティーを渡す岡本昭・岡安商事会長(右)



夫・明治物産 社長。本大会の趣

概要を固める 全国商品取引所連合会が中心になつて進めている「T+1推進会議」が11月5日開かれる。ここで、案がまとまれば農水・経産両省に示し、同意が得られれば、準則の改正などを進め、実施される運びとなる。

「T+1推進会議」は5月に中間案をまとめたが、その後、関係各団体から各種の意見が出てきたので、目下、ワーキンググループで改訂作業を進めている。それを受けて今回の推進会議で概要を固める。この会で提示される案は先物協会の意見も尊重されるものになる模様である。